九州の中小、拡大市場に的

植物工場向け装置展開

ニシケン LED栽培プラント
豊光社 低価格照明ユニット

九州で、野菜を安定的に収穫できる植物工場向け装置に参入する中小企業が相次いでいる。建設機械レンタルなどを手掛けるニシケン（福岡県久留米市、水田明義社長）は、発光ダイオード（LED）などを採用した水耕栽培ユニットの販売を開始。プリント基板製造などを主力とする豊光社（北九州市、倉光宏社長）は、冷陰極蛍光管（CCFL）を使った専用照明を生産する。猛暑など天候不順にも対応できることから、各社は需要拡大を見込む。

植物工場は無農薬の点でも注目を集める（北九州市での展示会）

ニシケンはLEDや蛍光灯を光源に採用した水耕栽培プラントの販売を始めた。サラダ菜など葉物野菜を水耕栽培できる多段式の棚型ユニットで、1ユニットは20平方㍍。種の植え込みから収穫までの期間は45日程度で、1ユニット当たり1日48株を収穫できるという。

同社は自社開発したプラントを使い年間300～400株を栽培、スーパーなどと取引の実績を持つ。「無農薬で安定供給できる特長を訴える」といい、2011年に数千万円の受注を目指す。

豊光社はCCFLを光源にした電源一体型の照明ユニットを受注生産する。CCFLは蛍光灯（40ワット型）に比べて照明寿命が6倍で、消費電力も4割少なくて済むという。

LEDに比べて省エネルギー性能は劣るが、価格は半値から4分の1で済むという。葉物など植物の種類に合わせて3タイプの波長を用意する。

自転車販売や音響設備などを手掛けるクリエイト光（熊本県宇土市、金田光生社長）は、葉物などの水耕栽培向けにLEDと水中に微細な酸素の気泡を発生させる装置を組み合わせたプラントの販売を始めた。顧客の初期投資の負担を軽減するため、リース会社と組んで貸し出すことも計画中。

経済産業省によると09年3月末時点で、青果を出荷・販売している植物工場は国内に約50カ所あるが、都市圏やその郊外に集中。九州域内は5カ所にとどまっており、各社は需要の掘り起こしをめざす。

仏料理に合う芋焼酎

ルネサンスと深野酒造 来月発売

酒類販売のルネサンス・プロジェクト（福岡市、中村鉄哉社長）は深野酒造（熊本県人吉市、深野秀陸社長）と共同でフランス料理に合うように開発した芋焼酎「茜（あかね）とんぼ」を12月1日に発売する。コース料理の食中酒として飽きずに飲めるよう、芋の香りを引き出すとともに、ほのかな甘みのある風味に仕上げた。

焼酎造りにあたっては、ホテルニューオータニ博多（福岡市）のレストラン「カステリアンルーム」の小松卓哉シェフ・ソムリエから助言を受けた。

夏のボーナス 3年連続減少

福岡商議所調べ、1.8%減

福岡商工会議所が15日まとめた2010年夏季賞与の支給状況によると、平均支給額は42万1113円（平均年齢40・1歳）で前年同期に比べて1・8%減少した。3年連続のマイナスとなった。

製造業が1・2%減の45万4386円。非製造業は1・9%減の41万3903円。

調査は会員企業のうち、福岡市内とその近郊に本社や事業所を置く従業員10人以上の1600社に対して実施。09年度と10年度の夏季賞与について調査した。有効回答社数は339社。

主力ミニバン本格生産

日産九州「小型車拠点に」

日産自動車は九州工場（福岡県苅田町）で15日、全面改良した主力ミニバン「セレナ」の本格的な生産を開始した。4代目となるセレナは、日産車体の湘南工場（神奈川県平塚市）から九州工場に生産を移管、年間約6万5000台を生産する。日産の志賀俊之最高執行責任者（COO）は式典で、九州工場について「競争力をさらに高め、（将来は）小型車の生産拠点にしたい」と述べた。

本格生産開始を祝う「オフライン式」で、志賀COOは「輸出比率の高い九州工場を海外の景気や為替に左右されない安定した工場にしたいと思い、セレナを移管した」と説明。来秋にも予定する九州工場の分社化にも触れ、「（分社により）意思決定を早め、小回りの利く体制にする」と語った。

セレナは今年度は3万6000台生産する計画。九州工場全体の年産台数は今のところ41万台の当初計画通りに進んでいる。

九州工場での生産は輸出車種が多く、輸出比率は約8割。リーマン・ショック後の海外市場の失速を受け、生産量が激減、09年度の生産は約31万台にとどまった。

セレナは国内ミニバンでナンバー1（2007～09年）の販売実績を誇る日産の看板車種の一つで、今後の同工場の生産安定に寄与しそうだ。

大分FC 県に2億円支援要請

月末の資金不足回避図る

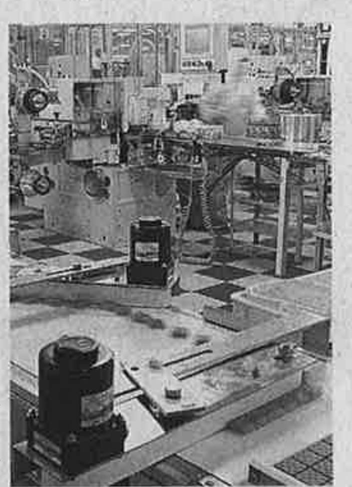
サッカーJリーグ2部（J2）大分トリニータの運営会社で経営再建中の大分フットボールクラブ（大分FC、大分市、青野浩志社長）は15日、大分県の外郭団体に2億円の資金支援を要請したと発表した。スポンサー収入や入場料収入の減少で今月末、運転資金の不足が見込まれるため、公的資金の追加投入で破綻回避をはかりたい考えだ。

同社によると、11月末までに取引先への支払いや従業員の給料などで7900万円が不足するほか、今期末にあたる来年1月末までの3カ月間で計1億9000万円の資金不足が生じるという。経営再建中で自力での資金調達が難しいことから12日、県外郭団体の「大分県文化スポーツ振興財団」に不足分の融資を求めた。同財団は17日に理事会を開き、融資の可否を協議する。同財団は2005年、大分FCが経営危機に陥った際にも2億円の救済融資を実施している。

県の支援を巡っては広瀬勝貞県知事が「必ずしもチームの存続が前提ではない」と慎重な姿勢を示している。

現場力 松尾製菓

チロルチョコ、包装素早く


約20種類のチロルチョコが作られ、全国の小売店の店頭に

コンビニエンスストアのレジわきなどでおなじみの小さなチョコレート「チロルチョコ」。全国のスーパーやコンビニで年間8億個、1日平均約200万個が売れるこのチョコはすべて、福岡県田川市にある松尾製菓（松尾利彦社長）の工場で作られている。

敷地面積4万5600平方㍍の工場に甘い香りが漂う。セ氏30度に暖められたチョコを型枠に流し込み、3・5度の冷蔵庫で約30分間冷やす。型枠から外すと、一辺3㌢のおなじみのチョコができあがる。チョコはこの後、20度に保たれた工場内で1～2日かけて熟成し、味をなじませる。

店頭価格は1つ20～30円。「単価が低い分、たくさん売らなければ利益が出ない」（松尾製菓の轟良幸取締役製造部長）。いかに生産効率を引き上げられるかがカギとなる。

特に難しいのが包装だ。台のような独特の形をした小さなチョコに、ぴったりと、素早く紙で包むため、スイスのメーカーに専用の機械を特注した。最速で1分間に280個を包装可能。秋からバレンタインデーにかけての量産期には、24時間稼働で、1日約400万個がつくられる。

松尾製菓は2004年、商品の企画・販売部門を分離、新会社「チロルチョコ」（東京・千代田）を設立。新たな味の企画・開発に取り組む。すでに「きなこもち」味などヒット商品も誕生。福岡の隠れた名産品は、全国のスイーツファンの心をとらえている。

新幹線全通に合わせ「さくら」の駅弁投入

JR九州系、各地名物入れ

九州旅客鉄道（JR九州）グループの外食会社、JR九州フードサービス（福岡市）は来年3月12日の九州新幹線全線開業に合わせて、主に新大阪―鹿児島中央間を直通運転する列車「さくら」をイメージした駅弁を販売する。

価格は1000円前後で、さくらの停車駅やさくらの車内で販売する。メニューは検討中だが、関西や中国地方からの乗客をターゲットとし、福岡の辛子めんたいこや熊本のからしレンコンといった九州の名物をおかずにする。

また、クリスマスには九州新幹線の800系「つばめ」に乗ったサンタクロースをあしらったオリジナルアイスケーキ（3600円）をフォーモストブルーシール（沖縄県浦添市）と共同販売する。

「環境都市」推進 懇話会が発足

北九州市

北九州市は15日、「環境未来都市等推進懇話会」を発足、初会合を開いた。環境未来都市など国からの指定を目指す同市が産官学民から広く意見を募るため、各種団体の理事長、会長、会頭、大学学長ら16人を委員にした。この日は座長に松永守央九州工業大学学長を互選、意見交換した。

市は環境未来都市を実現するための「環境国際戦略総合特区」構想を9月下旬に政府に提案した。

登場

九州経済産業局長 滝本徹氏（49）

環境・農業 けん引役に

「環境ビジネスや農業技術など、九州が強みとする分野をけん引役とした成長の実現をめざす」。策定を進める「九州版新成長戦略」への意気込みをこう語る。経済産業省の地域経済産業政策課長からの転任。産業クラスターや農商工連携など、地域経済の活力を引き出すための政策を担当した経験に期待が集まる。

「思い出深い仕事」と振り返るのは、入省5年目に直面したワシントン条約をめぐる騒動。絶滅の恐れがある野生動植物の国際取引を規制する同条約での象牙の規制強化が、欧米などから突如、提案された。当時、日本は象牙の最大輸入国。貿易管理担当として対応に追われた。「業界団体への説得などに苦労した」が、2週間ほどで合意を取りつけた。

九州に着任して3カ月余り。「よく耳にする『アジアの中の九州』との掛け声が逆に気になる」という。「技術の売り込みだけでは通用しない。利益を生むビジネスに育て、アジア市場で勝てるように官民で努力しなければならない」。視察などで「すでに九州を4周回った」という行動力に期待がかかる。

趣味はチェロの演奏。バッハにあこがれてポーランド駐在時に始めたといい、今でも毎日30分は弓を手にする。

（たきもと・とおる）＝愛媛県出身）